十九の春　風

本調子

私が

あなた　に

合合乙　老　四　合工四　上　四　合　四　合　四　合上中　合上四

惚れた　のは　ちょうど　十九　の

合四工　合五工　合　工　五五工　合四四　合　四　四上中　工　合

春で　した　いまさら　離縁　と

中中上　合上四　〇工四上中工五　合五五　合　五　五七五　工　合

言うな　らば　もと　の　十九　に

中上四　合乙合　〇工合乙四上中　合中中　合　中　上中工　合　工

しても　くれ

中中上　四上四　合工四　上　四　合合乙　老　四　合工四　上　四

もと　の　十九　に

合　四　合　四　合　中　上　四

する　な　らば　庭の　枯れ木　を

合　工　合五工　合　工　五　工　合　四　合　四　合上中　工　合

見てご　らん　枯れ木に　花　が

中中上　四上四　〇工四　工　四　合　五　合　五　五七五　工　合

咲いた　なら　十九に　するの　も

中上四　乙　合　〇合乙　老　四　合　中　合　中　上中工　合　工

やすけ　れど

中中上　四上四　〇工四　工　四　合合乙　老　四　〇工四　工　四

一銭　二銭　の

合　四　合　四　合上中　合上四

葉書　さえ　千里　万里　と

合四工　合五工　合　工　五五工　合四四　合　四　四上中　工　合

十九の春　風

本調子

旅を　する　同じ　コザ市　に

中中上　合上四　〇工四上中工五　合五五　合　五　五七五　工　合

住みな　がら　会え　ぬ　我が身　の

中上四　合乙合　〇工合乙四上中　合中中　合　中　上中工　合　工

せつな　さよ

中中上　四上四　合工四　上　四　合合乙　老　四　合工四　上　四

奥山　住まい　の

合　四　合　四　合　中　上　四

ウグイ　スは　梅の　小枝　で

合　工　合五工　合　工　五　工　合　四　合　四　合上中　工　合

昼寝　して　春が　来るよう　な

中中上　四上四　〇工四　工　四　合　五　合　五七五　工　合

夢を　見て　ホケキョ　ホケキョ　と

中上四　乙　合　〇合乙　老　四　合　中　合　中　上中工　合　工

鳴いて　いた

中中上　四上四　〇工四　工　四　合合乙　老　四　〇工四　上　四

合合乙　老　四

十九の春　風

本調子

一、1．
私があなたに惚れたのは
ちょうど十九の春でした
いまさら離縁と言うならば
もとの十九にしておくれ

2．
もとの十九にするならば
庭の枯れ木を見てごらん
枯れ木に花が咲いたなら
十九にするのもやすけれど

3．
見捨て心があるならば
早くお知らせ下さいね
年も若くあるうちに
思い残すな明日の花

4．
一銭二銭の葉書さえ
千里万里と旅をする
同じコザ市に住みながら
会えぬ我が身のせつなさよ

5．
主さん主さんと呼んだとて
主さんにゃ立派な方がある
いくら主さんと呼んだとて
一生忘れぬ片思い

6．
奥山住まいのウグイスは
梅の小枝で昼寝して
春が来るような夢を見て
ホケキョホケキョと鳴いていた